

鳥居本学区内の 介護福祉施設に 訪問インタビュー

鳥居本

2023年9月1日
第23号

鳥居本民生委員
児童委員協議会



7月11日から14日にかけて鳥居本学区内の介護福祉施設とケアマネジャー（介護支援専門員）の方に民生委員・児童委員の寺村と酒井がインタビューをさせていただきました。それぞれの施設の内容から利用するにはどうすればいいのかなどをお聞きしてきました。

私たちが住んでいる鳥居本学区内には現在三つの介護関係の施設やセンターがあります。「デイサービスセンター鈴の音」と「グループホームつぼみ」、「地域包括支援センターすばる」です。介護保険で大切な内容である要支援、要介護を表にしておきます。

要介護状態区分

※状態の説明は、あくまでめやすです。

要介護状態区分	状態のめやす	利用できるサービス・事業
要支援1	ほぼ自立した生活ができるが、介護予防のための支援や改善が必要	介護予防サービス
要支援2	日常生活に支援は必要だが、それによって介護予防できる可能性が高い	介護予防・生活支援サービス事業
要介護1	歩行などに不安定さがあり、日常生活に部分的な介護が必要	介護サービス
要介護2	歩行などが不安定で、排せつや入浴などの一部または全部に介護が必要	
要介護3	歩行や排せつ、入浴、衣服の着脱などに、ほぼ洗面的な介護が必要	
要介護4	日常生活全般に動作能力が低下しており、介護なしでの生活は困難	
要介護5	生活全般に介護が必要で、介護なしでは日常生活がほぼ不可能	
非該当	要支援や要介護に当てはまらない人	基本チェックリストで生活機能の低下がみられた場合 介護予防・生活支援サービス事業

デイサービスセンター 鈴の音

7月11日(火)

介護福祉士の
村田さんにお話を伺いました

定員は12名です。認知症を患い、要介護1から5までの方の日帰り利用をしていただくところです。

見慣れた風景と静なじみの方々のなかで、その人らしく生活をし続けてもらうことを目指しています。

特に園芸療法を取り入れ土に触れ、植物の生育を楽しみ、そこで実った野菜と一緒に料理したりします。また、その人に合ったリクレーションを行っています。

基本は食事・入浴・排せつといった生活の介護ですが、それだけでなくそれぞれの趣味や人との会話、カラオケ、歌を聴くだけでも安心できる環境をつくっています。誰でも年を重ねれば思うように動けなくなります。時間がかかっても自分の生活をやりきる。そのお手伝いをさせていただきます。古民家を利用しての施設ならではの心の落ち着きと地域社会とのつながりを大切にしています。



会路の音 外観



介護福祉士の村田さん

グループホーム つぼみ

7月12日(水)

管理者の
中島さんにお話を伺いました



つぼみ 外観

定員は9名で全個室です。軽い認知症で要支援2から要介護5までの方が対象です。少数数の家庭的な雰囲気の中で互いに助け合いながら24時間共同生活を送るところです。

利用者と一緒には洗濯、掃除、料理までお任せします。また、折り紙などのリクレーションを行い、一人ひとりにあった介護支援をおこなっています。ご利用者様とそのご家族との交流をより一層深めてまいります。また、これからの課題としても地域の方々との交流が進んでいけるようにしたいです。



管理者の中島さん

地域包括支援センター すばる

7月14日(金)

鳥居本窓口担当者の
市橋さんに
お話を伺いました

地域の中のなんでも相談を聞くところ。総合相談所です。なんでもの中身は、暮らし、健康、人権侵害、認知症、虐待、ひきこもり、高齢者の子どものひきこもりと多種多様です。

内容でもリケートで個人情報を取扱うので秘密を厳守しています。たとえば、ご近所さんから「あのお宅いつも臭いね」と相談があれば「なんとなく訪問」をして玄関口で「臭い匂いがあるのですか?」と言うと「お臭いがありました」と感謝され、火事になることを止めたこともあります。また、ご近所に気づけたくないご相談だとバイクや自転車でもわからないようにそっと訪問したりしています。

地域からの相談を適切な事業所やサービスにつなげていくパイプ役を行っています。

相談はどなたでもいいのですが、相談のあと、私たちが対応できるのは要支援1・2だけの方なので要介護になられたらケアマネジャーに担当がかわります。

これからの問題は、2025年には団塊の世代が75歳をむかえます。そのことに対する体制づくりが気がかりです。

ケアマネジャー (介護支援専門員)

7月14日(金)

ケアマネジャーの
泉さんに
お話を伺いました

主として要介護1から5の方が対象です。ご本人とご家族さんが望む暮らしをお聞きて、その生活に近づけるように相談して支援計画をつくる仕事です。

生活が前向きになるように何が必要か提案させてもらっています。

そして近隣の介護施設や居宅サービスなど多くの事業所やかかりつけ医、病院などと連携して必要な介護サービスが受けられるよう調整します。



ケアマネジャーの泉さん(写真左)と鳥居本窓口担当者の市橋さん(写真右)

介護保険サービスを 利用するには?



例えば、病気がケガでいまままでできていたこと、していたことが、できなくなった、できづらくなった、物忘れが気になりました。はっきり困ったことがなくても、段々からだが弱ってきたと感じて、悪くなるのを予防したいときなどのときに、まずは「地域包括支援センターすばる：電話21-5412」「地域の民生委員」「公民館や市の窓口」「かかりつけ医師」「病院の相談室」「市の福祉センター」にご連絡ください。

次に市役所から認定調査をうけて状態に応じて要支援1・2・要介護1~5の要介護状態区分が決まります。そして「地域包括支援センター」「ケアマネジャー」と一緒になって介護支援計画を作る運びとなります。

誰もが笑顔で自分らしく暮らせるように
身近で日々活躍されている方々がいます

一人で、家族で悩まず、先ずはご相談ください
共によりよい地域社会を築きましょう



民生委員・児童委員はあなたの悩みの相談員です。 お気軽に声をかけてください。

鳥居本民生委員・児童委員の担当地区

委員名	担当地域	電話番号
会長 寺村 重一	甲田町(北・南)、宮田町(物生山、馬場、西山)、福徳住宅、国産パネ工業寮	
副会長 田部 芳一	中町、下町、1日鳥 矢倉(上・下)、樋の口、男鬼町、武奈町、いびき寮(フジテック)	
酒井 紳一	百々、上町、内町(東・西)、山田、ニュータウン	
立岩 章浩	笹尾町、荘厳寺町、番谷町、中山町(中山、播磨)、仏生寺町	
横山 知子	ビレッジハウス鳥居本、高根	
原 伸光	小野町、原町	
主任児童委員 林 由紀子	鳥居本学区全域	